

美東、浦添勢止める

堅守から速攻初V

ハンドボール

浦添市民体育館

男子

神	具	神
森	志	森
川	川	川
28	26	33
1117	23	19
1113	浦	浦
24	港	添
具	川	添
志	川	添
川	川	添

神	美	美
森	東	東
24	18	23
19	8	12
仲	港	11
西	川	9
川	川	17
川	川	森

美東23、浦添12、神森8、神森17

全国4強以上に

女子決勝は、堅い守りか



女子決勝 美東―神森 前半、美東の城間陽菜が速攻で8点目のシュートを決める＝浦添市民体育館(古謝克公撮影)

らの速攻で得点を重ねた美東が初の頂点に立った。3月の全国大会で4強入りし、大きな手応えをつかんだ美東。続く4月の県春季大会を制したチームについて、世嘉良学監督も「全国での実績がプレーの自信につながっている」と成長を感じていた。

3大会連続の決勝で対する神森に対し、序盤こそ互角の展開だったが、徐々に美東の「前に出て抑える守備」が流れを引き寄せた。

美東は後半に入っても動きを止めず、しつこい守備を展開。終盤には疲れの見た神森の隙を突き、4連続得点で突き放し、16点差で快勝。18年続いた浦添勢の連覇を阻んだ。

チーム最多の9得点を挙げた城間陽菜は「必死に守り、得点につなげられた」と納得の表情。要所で好セーブを見せた具志堅夏美

主将は「春は悔しい思いをしたので、全国4強以上に進みたい」と、九州大会突破へ向けて意気込んだ。

(花城克俊)

男子決勝 神森―具志川
前半、神森の池原諸有紀が左サイドから15点目のシュートを決める

王者神森 振り切る

九州へ失点を反省



○男子決勝は、総合力で勝るで止めないと九州、全国では勝てない」と課題を挙げる。

神森が、終盤に粘りを見せた具志川を振り切り、頂点に立った。

守備の要・仲石直史は「今大会は油断があったかもしれない。九州大会までには、守りからリズムをつくれるようにし、夏の連戦で勝てるチームに仕上げたい」と躍進を誓った。

と反省しきり。「相手の出足を体